

Case Report

キャストサポートグッズを取り入れている
たかはし整形外科皮フ科クリニック 院長の高橋 大先生に聞きました。

ギプス患者さんの入浴に関するサポートグッズ

たかはし整形外科皮フ科クリニック

院長 高橋 大 先生

■ ギプス患者さんに対する治療方針

快適なギプス生活の為に

腕から手関節、下腿から足部の骨折をしてしまった時、多くの場合1か月から1か月半の期間ギプス固定して治療します。

この期間ギプスは、基本的に取り外しはできない為、ギプスを濡らしたり汚したりしないようにすることが大切です。

■ ギプス専用防水カバー導入の経緯

ギプス患者さんの入浴ストレス

当時6才の娘が、上腕骨顆上骨折の為ギプス固定をしていた時、細長いビニール袋を腕にくくって、輪ゴムとガムテープで密封してお風呂に入っていました。

袋のシワ部分に水が溜まったり、隙間から水が入ってきたりしてギプスは濡れてしまい、水分をタオルで拭き取り、ドライヤーで乾かす作業を毎日行い、怪我以上のストレスを感じました。

日常診療でも私と同じような体験談を頻繁に耳にし、他に簡単で良い方法がないものかと悩んでいました。ギプス専用の防水カバーの存在を知ったのはそんな折です。まずはどんなカバーなのか、私のクリニックで使用してみようと早速導入してみました。

■ ギプス専用防水カバー導入後の患者さんの反応

患者さんが喜んでくれています

- 長さは折って調節し、腕や足に簡単に通すだけで使用できる。
テープで密封するといった手間が要らず、使用後に乾かせばくり返し使用できる点が良い。(16才男性)
- 幼稚園の娘が、入浴後どう工夫してもギプスに水が入ってしまい、ムレやかぶれの湿疹ができてしまい困りました。先生の勧めで専用カバーを使ってみたところ、ムレやかぶれも解消されました。娘の腕が細いのでゴム口に緩みがありましたが、タオルを巻いたうえで使用すれば大丈夫でした。(4才女児の母)



アルケア株式会社

東京都墨田区錦糸1-2-1 アルカセントラル19階 〒130-0013
TEL.03-5611-7800(代表) FAX.03-5611-7825
www.alcare.co.jp

お問い合わせ：コールセンター

フリーダイヤル 0120-770-863

土・日・祝日を除く
午前9:00～午後5:00